2026年11月〇日

業務部　部長　佐藤花子　様

業務部　受注課
山田太郎

再発防止策報告書

件名：受注入力の数量の誤りによる誤出荷について

標記の件について、原因と再発防止策を下記のとおりご報告いたします。

記

1. 発生した事象

2026年11月〇日、株式会社見本工業からの注文で、数量20個を200個と入力し、そのまま出荷しました。先方の受入で誤りが分かり、180個を引き取りました。

2. 原因（人・手順・仕組み）

人：注文書の数量を、見比べずに記憶で入力した。

手順：入力した内容を別の人が確かめる工程がなかった。

仕組み：受注システムに、いつもの数量と大きく違うときに知らせる機能がなかった。

3. 再発防止策（内容・担当・期限）

入力後、注文書と画面を指でさして読み合わせる（担当：受注課の全員、11月〇日から）

100個以上の注文は、出荷前に課長が確認する（担当：受注課長、11月〇日から）

いつもの注文数の5倍を超えると警告が出るよう、システムの設定を変える（担当：情報システム課、12月〇日まで）

4. 効果の確かめ方

12月から3か月間、毎月末に課長が誤入力の件数を集計し、部長に報告します。読み合わせをしたかどうかは、出荷伝票の確認欄で確かめます。

以上